

檜山地区 教育研究大会（せたな大会）

- 1 目的 先行きが不透明な中においても、教育のさらなる充実、発展と新たな課題の解明に向け、各学校で積み上げた実践を交流し、互いに磨き合うとともに、学習指導要領の実施に係る的確な対応等、学校教育を取り巻く今日的な諸課題にも積極的に目を向け、校長としての職能向上を図る。
- 2 主催 檜山校長会
- 3 後援 北海道教育庁檜山教育局・せたな町・檜山管内教育委員会連絡協議会
檜山管内各町教育委員会
- 4 期日 令和5年10月6日（金）・7日（土）
- 5 会場 せたな町（せたな町民ふれあいプラザ）
- 6 参加者 檜山校長会員他（39名）
- 7 日程

- 【1日目】 9時30分 開会式
10時15分 講話（檜山教育局長）
11時15分 分科会
（第1「学校経営」第2「教育課題」）
14時50分 道中提言発表
15時30分 全体会（道小・道中役員による教育情勢報告等）
- 【2日目】 9時00分 学校別部会（今日的教育課題に係る協議）
（1）小学校部会（防災教育・働き方改革・コロナ禍明けの教育活動等に関する情報交流、研究協議）
（2）中学校部会（働き方改革・休日部活動の地域移行・学校課題等に関する情報交流、研究協議）

11時10分 閉会式

8 学校経営上の課題別分科会

2つの学校経営上の課題別提言による研究協議を分科会形式で実施した。

○第1分科会 学校経営

「家庭・地域社会・異校種間の連携を図る組織マネジメントと校長の在り方」

提言者：上ノ国町立河北小学校長 笹木 央

上ノ国町校長会が行った、長年町の教育指針として地域に根ざし実践を重ねてきた「学びの共同体」を生かした家庭・地域社会・異校種間の連携を図る組織マネジメントの取組の概要や成果・課題についての提言をもとに意見交流を行った。要点として、校長は校長間の連携を密に図ること、各校種間の連携を強化すること、PTA・地域との連携を強化することが重要である。今後は保小連携や学童保育所との情報共有、新旧地域連携組織の活動内容整理を行うことなどが課題であるなど、組織マネジメントの重要性と校長の在り方について認識を深めた。

○第2分科会 教育課題

「地域の活性化と教職員の資質向上を図る学校経営と校長の在り方

～ICT教育の推進と1人1台端末の活用を通して～」

提言者：乙部町立明和小小学校長 晴山 泰文

乙部町校長会が行った、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るためのICTの効率的・効果的な活用を図る学校経営について校長の果たすべき役割と指導性に関わる取組の概要や成果・課題についての提言をもとに意見交流を行った。要点として町教育委員会への校長会からの働きかけや端末の使用に係る『使用意識』の高まり、同僚同士の教え合い、授業の質の高まり、アウトプット型の授業への転換、小・小連携などが重要である。今後は同僚同士の自発的な学び合いを推奨する雰囲気づくりや指導者への校長の関わりが課題であるなど、校長の役割と指導性について認識を深めた。

9 全道中提言発表内容の交流

9月22日・23日に開催された第64回北海道中学校長会研究大会小樽大会で発表した提言について全体で交流。小学校部会と中学校部会が互いに研究している内容を知る機会としている。

【第3分科会】

□研究主題 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

□研究の視点 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実

□提言者 せたな町立大成中学校長 赤井優子

◇概要：令和3年度から「キャリア教育」を課題として研究を進めた。職場体験学習や地域素材・人材を活用した体験的な学習について取組の継続と充実、そして校長の関与についてこれまでの実践の成果と課題を明らかにした。

10 道小・道中教育情勢報告

今年度半期における国及び道教委の教育行政情報について、道小・道中役員による説明・報告を通して、今後の教育の動向等についての理解・認識を深めた。

北海道小学校長会事務局次長 丹野靖彦氏

北海道小学校長会対策部幹事 里館大氏

北海道中学校長会研修部幹事 川原明子氏

主な説明情報

- (1) 道小・道中学校長会の活動紹介（総会・研修会・理事研修会・全道会長研ほか）
- (2) 教育情報に関わって（予算概算要求・デジタル教科書・不登校・働き方改革ほか）
- (3) 質問事項に関わって（働き方改革・休日部活動の地域移行・教職員定数改善ほか）

11 学校別部会

(1) 小学校部会

今日的な教育課題について、防災教育や働き方改革（コロナ禍明けの教育活動等）等を視点に交流した。

① 防災教育について

1日防災学校、各種避難訓練の見直し、引き渡し訓練の実施、職員の危機管理意識の向上や児童の「自ら考えて判断できる力」の育成について等

② 働き方改革（コロナ禍明けの教育活動等）について

I C Tを活用した校務整理、真に必要な教育活動の見直し、時数の適正化と教育の質の保証、曜日による日課などの制度見直しについて等

(2) 中学校部会

今日的な教育課題について、管理職人材育成、休日部活動の地域移行、学校における働き方改革等を視点に交流した。

① 管理職人材育成について

他管へ流出する人材の食い止め、住宅事情の課題、必要な人材の優先的確保の方策について等。

② 休日部活動の地域移行について

合同部活動チームと拠点校方式の相違点・メリット・デメリット、「北海道の部活動の在り方に関する方針」の改定について等。

③ 学校における働き方改革について

部活動時間や活動日数の実態把握、顧問のなり手不足、合同練習の課題、部活動日数制限のねらいと実感の乖離について等。